

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	1期	山中 直樹		○		
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	臨床柔道整復学		座学	1	10		
科目概要							
柔道整復師として、各損傷を正しく評価するために、骨格系や筋系の構造を理解し、損傷をより正確に把握できるように学んでいきます。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	柔道整復師に関わる「損傷」を理解するため(解剖学的要素(運動器の構造・作用、神経機能等)の知識を獲得する。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)						
1. 解剖学構造を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 2. 運動器の作用を理解し、損傷の際の不具合に対する問題に対し正しい答えを選ぶことができる。 3. 運動器に欠かせない神経的要素を理解し、正しい答えを選ぶことができる。 4. 身体損傷時における神経機構の異常について、正しい答えを選ぶことができる。							
履修に必要な予備知識や技能							
すべての教科の基盤である解剖学、とくに骨格系や筋系の部分の予習復習を大事にしてください。							
教科書・参考書							
教科書:『柔道整復学・理論編』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 『解剖学 改訂第2版』医歯薬出版株式会社							
受講上の注意							
不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜担当教員に確認してください。 授業で必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	ガイダンス、「損傷」に係わる解剖学的要素①			p.21-33	教科書・筆記用具		
第2回	「損傷」に係わる解剖学的要素②			p.33-45	教科書・筆記用具		
第3回	「損傷」に係わる解剖学的要素③			p.45-57	教科書・筆記用具		
第4回	「損傷」に係わる解剖学的要素④			p.57-69	教科書・筆記用具		
第5回	「損傷」に係わる解剖学的要素⑤			p.69-81	教科書・筆記用具		
第6回	「損傷」に係わる解剖学的要素⑥			p.81-93	教科書・筆記用具		
第7回	「損傷」に係わる解剖学的要素⑦			p.93-105	教科書・筆記用具		
第8回	「損傷」に係わる解剖学的要素⑧			p.105-117	教科書・筆記用具		
第9回	「損傷」に係わる解剖学的要素⑨			p.117-122	教科書・筆記用具		
第10回	試験				教科書・筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
柔道整復師として接骨院に8年間勤務。 また、鍼灸院を開業して12年の訪問診療等における実務経験をもとに解剖学的要素について話をします							
メールアドレス							
yamanaka@nihonisen.ac.jp							